

国有林野所在市町村の魅力紹介

青森県東津軽郡外ヶ浜町

青森森林管理署

津軽国定公園龍飛崎。北海道の白神岬とは津軽海峡を挟んで19.5kmの距離があり、地下を青函トンネルが通ります。晴れた日には北海道を見渡すことができます。海沿いから龍飛崎灯台方向に延びる全362段の日本で唯一の階段国道があります。もとは生活道路として利用されていましたが、1974年に国道に指定されました。



階段国道339号

日本史上ひととき人気の高い人物である「源義経」。1189年（文治5年）、兄である源頼朝の手により平泉の地で悲劇の死をとげたとされる義経ですが、ここ外ヶ浜町三厩地区には義経が追撃をかくぐって平泉を脱出、北へ向かい龍飛崎を渡って蝦夷地（北海道）へ向かったという「義経北行伝説」が伝えられています。義経寺、甲岩、厩石、帯島など義経一行が歩んだ足跡をたどれます。



義経寺 仁王門

平館灯台は、全国的にも珍しい国道沿いに立つ白亜の灯台。明治32年にできた西洋式灯台で、高さは23mあります。クロマツ並木や西洋式台場の土濠が扇状に残っています。平館海峡を航行する船舶を100年以上にわたり見守ってきました。



平館灯台

大平山元遺跡からは、旧石器時代の終わりごろの特徴を持つ石器群とともに、土器片と石鏃が出土しました。土器片に付着していた炭化物の放射性炭素年代測定を行ったところ、紀元前13,000年頃のものである可能性が指摘されました。現在のところ北東アジア最古級の土器です。最も古い特徴を持つ土器片は、縄による施文や貼り付けなどの装飾がない無文のものです。重量があり壊れやすい土器の出現は、定住生活の開始を示す重要な要素であり、この土器片は土器の起源を語ることができるもののひとつと考えられています（世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群）。



史跡 大平山元遺跡 日本最古の土器片

お問合せ先：外ヶ浜町役場産業観光課 Tel.0174-31-1228